

《開演 19:00》

## 第1部 序/音楽詩&朗読

### 《音楽詩》

ピアノ弾き語り/吉岡しげ美  
『生きているもの・死んでいるもの』

この世に存在するものは、何でも息づいている。が、生きようとしていないのか。どうやって確かめることができるだろう？



### 『怒るときと許すとき』

「女がひとり/頬杖をついて/慣れない煙草をぶかぶかふかし/・・・」男を許すべきか 怒るべきかについて、そのタイミングをはかりながら、男を観察し、自身を見つめ、自分を発見していく。

### 『わたしが一番きれいだったとき』

高校の教科書にも載った、茨木のり子の代表作。戦争がつくる空気感・状況と心境を一、そして社会の不都合の真実を、体験者として、女の目線で表現。

### 《朗読》

朗読と語り(女)/松島邦

『娘たち』  
「縄文時代の・・・卑弥呼のころ・・・遁輪の女・・・早乙女の・・・」さて、今の時代の娘たちは??



### 『寄りかからず』

「できあいの思想、宗教、学問、権威・・・」『寄りかからずすれば椅子の背もたれだけ』わたしは、あなたは、どうなんだろう・・・と問いかける。

朗読と語り(男)/山川建夫

『賑々しきなかの』  
TV アナウンサーを職業としていたが、この詩はいまの政治家にも読んでもらいたい。



『食卓に珈琲の匂い流れ』  
「静かな/日曜日の朝/食卓に珈琲の匂い流れ・・・」私の想いと重なる。

### 《ゲスト・トーク》

平塚らいてうと茨木のり子/米田佐代子

《休憩 15分》

## 第2部 破/パフォーマンス

### 《パフォーマンス》

ハイブリッドパフォーマンス/ムンロ王子

『わたしの叔父さん』  
摘薔(てぎらい)という言葉を知っていただいた。この詩からは、時間についていろいろ教えていただいた。



### 『もっと強く』

「女がほしければ/男がほしければ奪うのもいいのだ」もっと強くなろう。

### 『自分の感受性くらい』

わたしは、わたしにいう。あなたは、あなたにいう。「自分で守れ/ばかものよ」と。

### 《独唱&ピアノ》

バリトン独唱/別府真也

『Never Enough』  
ミュージカル映画『The Greatest Showman』から、最後の別れを、その心内のつらさを Never be enough, Never enough, for me と歌う。この情感をオペラ歌手はどう歌うだろうか。バリトンの男性歌唱で聴き取りたい。



即興ピアノ曲/小森俊明



本公演でピアノ伴奏を担当して頂いた小森俊明に、今宵の茨木のり子の詩情世界を、即興ピアノ曲として作曲&演奏していただく。彼の曲の世界は、はたして穏やかか、激しいか・・・  
撮影：鳥賀陽弘道

## 第3部 急/コロナ禍浄化

### 《所作》

狂言の笑い/善竹十郎

今年 76 歳になる善竹十郎。今年は思いもよらない特別な年になってしまった。が、室町時代から続く大藏流狂言方の歴史は700年以上続いたがコロナ禍の様な災いは何度もあった。

狂言は、日常生活の喜怒哀楽を舞う。その感情は所作の型で表現される。コロナ禍を「狂言の笑い」で浄化する。



《終演 20:30 予定》

### 吉岡しげ美(よしおか しげみ)

武蔵野音楽大学音楽教育学科声楽専攻、日本女子大学児童学科&大学院修士課程修了。カリフォルニア大学バークレー校で学ぶ。金子みすゞ、茨木のり子、与謝野晶子のほか万葉集、枕草子などをうたう「音楽詩」を確立。国内外で音楽詩のコンサート活動。CD、DVD、書籍等を公刊。数校で大学教授を歴任。

### 松島 邦(まつしま くに)

朗読家・朗読講師。NPO 日本朗読文化協会、新生声のこたばの勉強会会員。山形県鶴岡市出身。早大文学部演劇専修卒。観光関係のイベント業に従事後朗読の世界へ。内幸町ホール主催、朗読劇「一葉の恋」「たけくらべ」公演。藤沢周平・茨木のり子他の作品の『ホッとひといき』自主公演。

### 山川建夫(やまかわ ゆきお)

慶応大学卒業後、フジテレビアナウンサーとしてモーニングショーを 10 ヶ月間担当。17 年間務めた後に退社して、全国を遍歴し、千葉県市原市の農村に定住、自然農業を 20 年間実践。現在フリーアナウンサー&司会業のほか、芝居や朗読会を行う。憲法問題や環境保護についての講演や執筆活動などを行う。

### ムンロ王子(むんろ おうじ)

年齢・性別不明、海城高校・東京大学法学部卒業。IT 企業を経営し、趣味で始めたタロット占い師。これまで、1 万人以上の人生相談を行う。シャンソンを歌い、朗読と、シナリオにも挑戦。最近では、女性週刊誌「女性セブン」、TV 出演などメディアでも登場している。競馬ではダービーを 2 年連続で当てた。

### 別府真也(べっふ しんや)

福岡県出身。千葉大学卒業、同大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。ロータリー財団国際親善奨学生としてミラノ留学。第3回横浜国際音楽コンクール第1位。第8回パーザロ市国際音楽コンクール第3位。「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「セビリアの理髪師」「リゴレット」「ジャンニ・スキッキ」でタイトルロールの他、イタリアオペラに多数出演。藤原歌劇団員。

### 小森俊明(こもり としあき)

作曲家、編曲家、ピアニスト。神奈川県横浜市出身。東京藝術大学作曲科を経て同大学院作曲専攻修了。東京藝術大学音楽学部同声会神奈川支部役員、日本イザイ協会顧問、芸術メディア研究会会員。日本交響楽振興財団作曲

賞、東京国際室内楽作曲コンクール、東京国際歌曲作曲コンクール等に入賞、入選。

### 善竹十郎(ぜんちく じゅうろう)

狂言師。1944(昭和19)年、大阪市出身。早稲田大学政経学部卒業。祖父善竹彌五郎、父・圭五郎、大藏流 24 世宗家故大藏彌右衛門に師事。重要無形文化財総合指定保持者。(公社)能楽協会・(一社)日本能楽会会員。1983 年芸術選奨文部大臣新人賞、1993 年大阪文化祭賞受賞。2014 年夏まで桐朋学園芸術短大で 48 年間、狂言を教授。現在、東都大学客員教授。早稲田大学エクステンションセンター講師。

●企画制作/青柳浩生 ●舞台監督/イトーノリヒサ  
●演出/井上貴湖 ●映像監督/勝山茂雄 ●管理運営/Event Banking